



日本バイリーニンググループ

中期3カ年計画 2013-2015

 **vilene** 日本バイリーニング株式会社

目次

日本バイリングループ中期3カ年計画 2013-2015

P.1	中期3カ年計画概要
P.2	中期3カ年計画キーインデックス
P.3	セグメント別計画と海外売上高比率
P.4	中期3カ年計画の基本戦略
P.5	キー・チャレンジ
P.6	ニュー・ビジネス
P.7	コア・ビジネス
P.8	オペレーショナル・エクセレンス
P.9	ヒューマン・キャピタル・マネジメント
P.10	設備投資計画
P.11	海外オペレーション
P.12	ガバナンスと環境経営

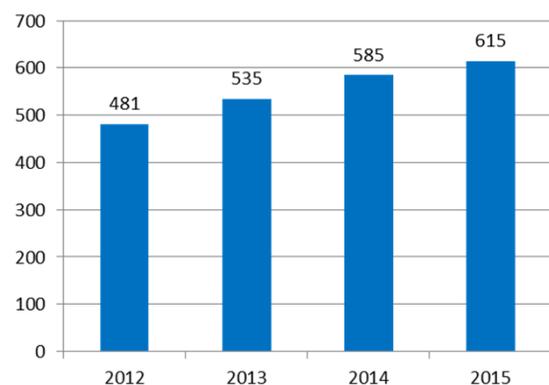
中期3カ年計画概要

2015年目標

連結売上高	615億円	売上高経常利益率	9.1%
連結営業利益	44億円	総資本経常利益率	9.7%
連結経常利益	56億円	投下資本利益率*	8.4%
連結当期純利益	37億円	損益分岐点売上高比率	84.2%
		売上高販売管理費率	15.7%

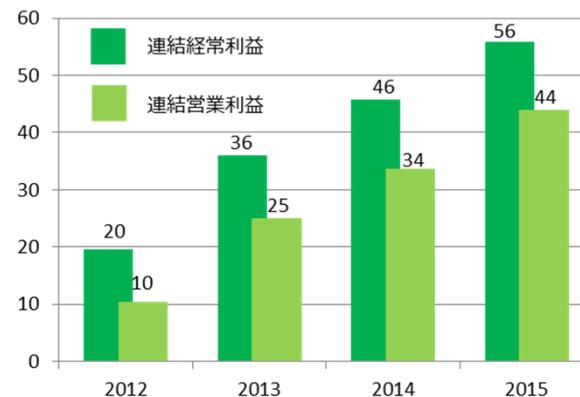
連結売上高

単位：億円



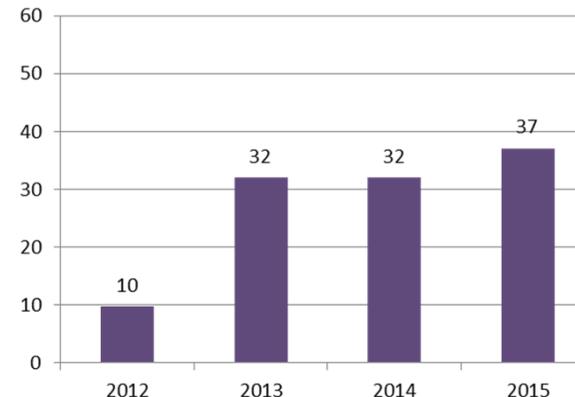
連結営業利益および経常利益

単位：億円



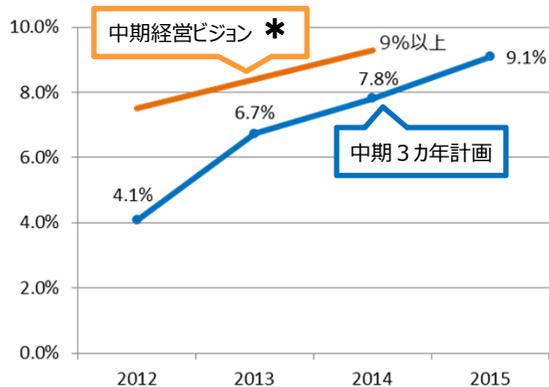
連結当期純利益

単位：億円

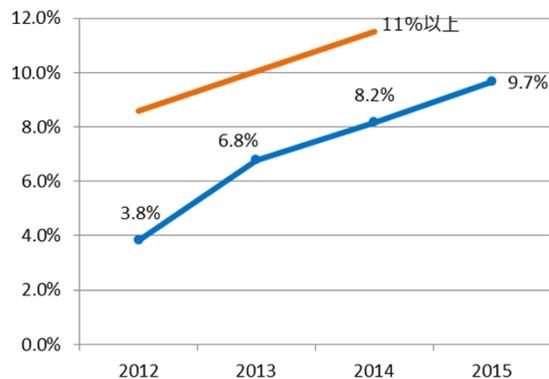


中期3カ年計画 キーインデックス

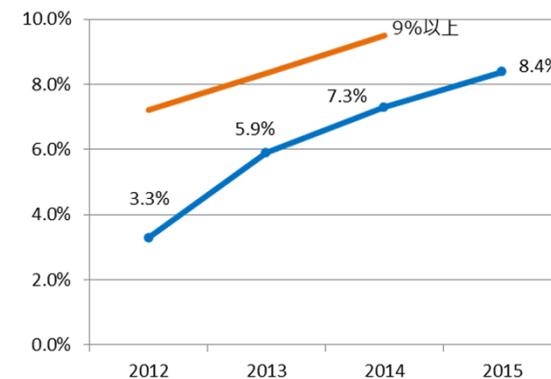
売上高経常利益率



総資本経常利益率

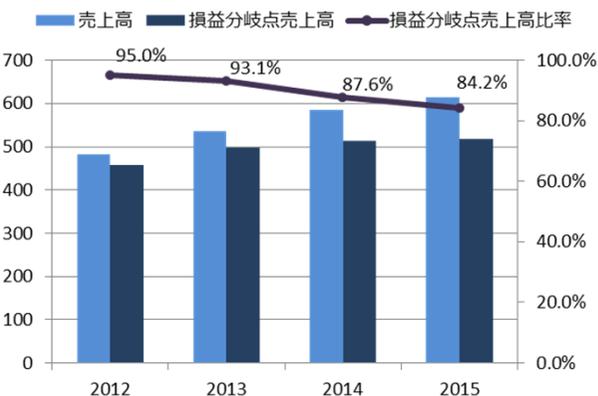


投下資本利益率



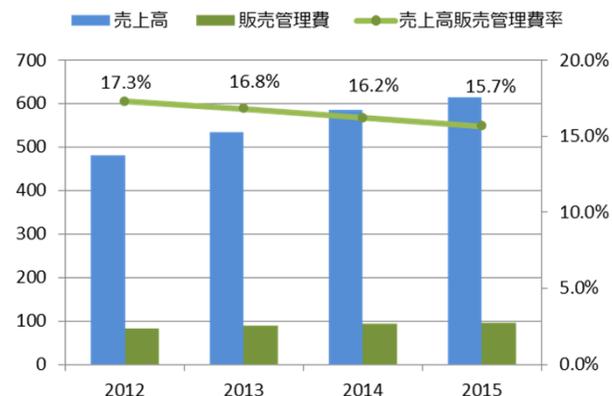
損益分岐点売上高比率

単位：億円



売上高販売管理費率

単位：億円

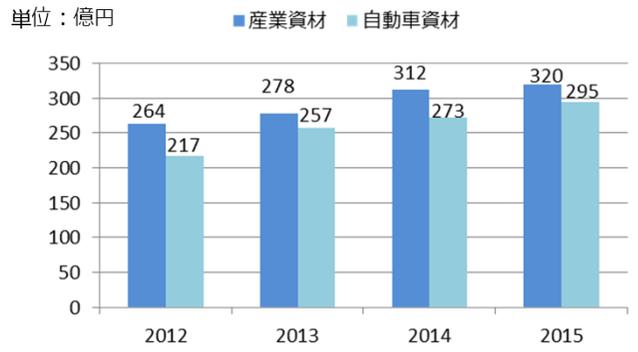


* 中期経営ビジョン (Engineering Fabric Innovation) 2010年6月策定



セグメント別計画と海外売上高

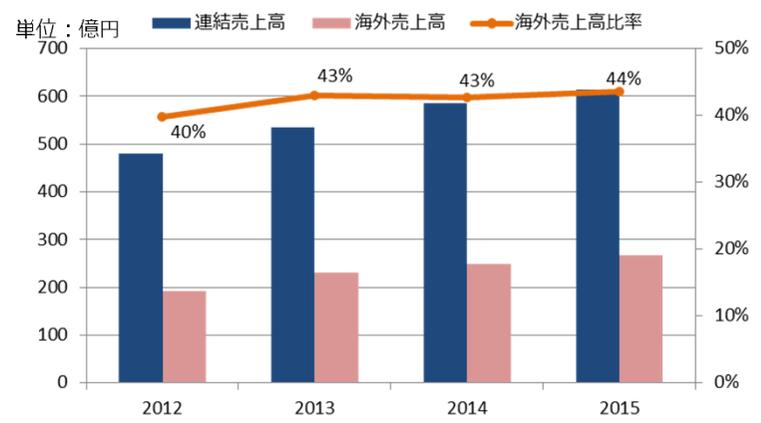
セグメント別売上高



セグメント別営業利益と営業利益率

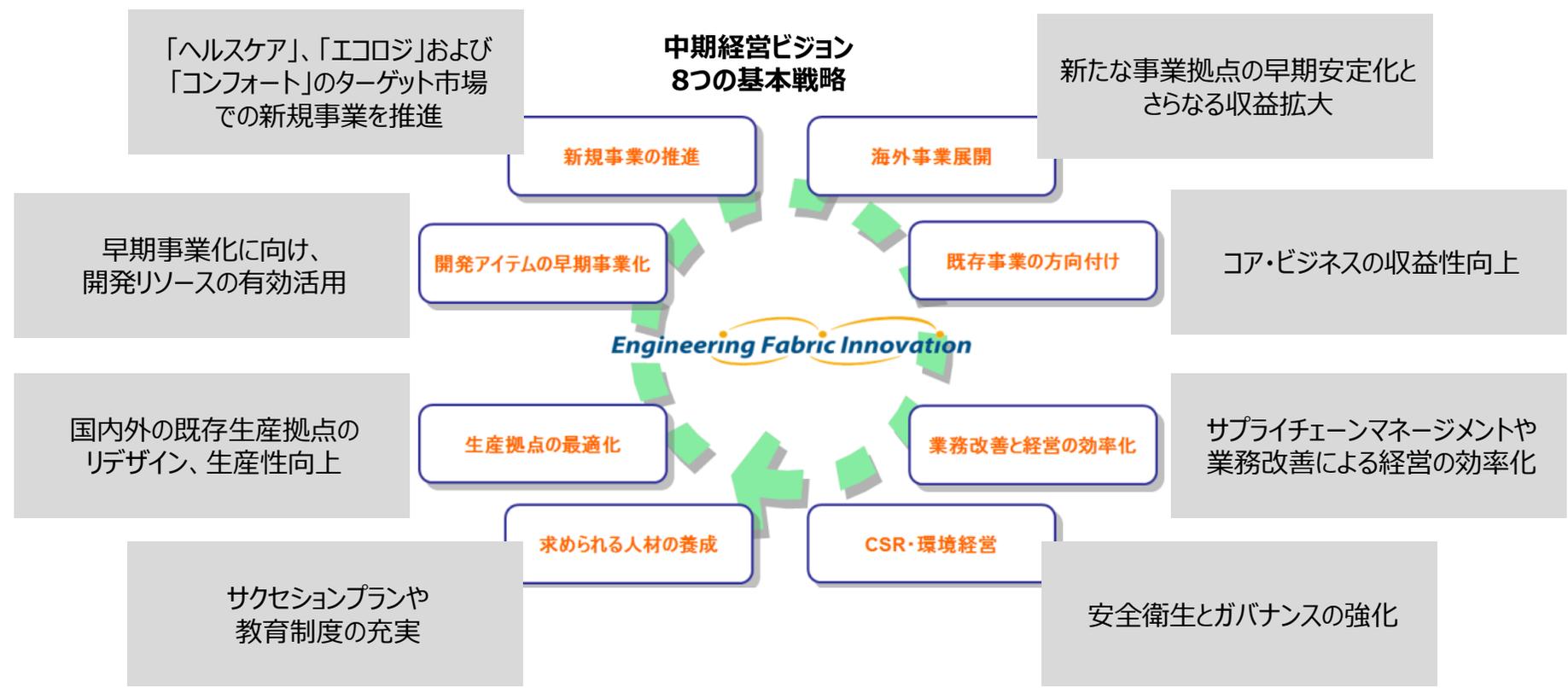


海外売上高と海外売上高比率



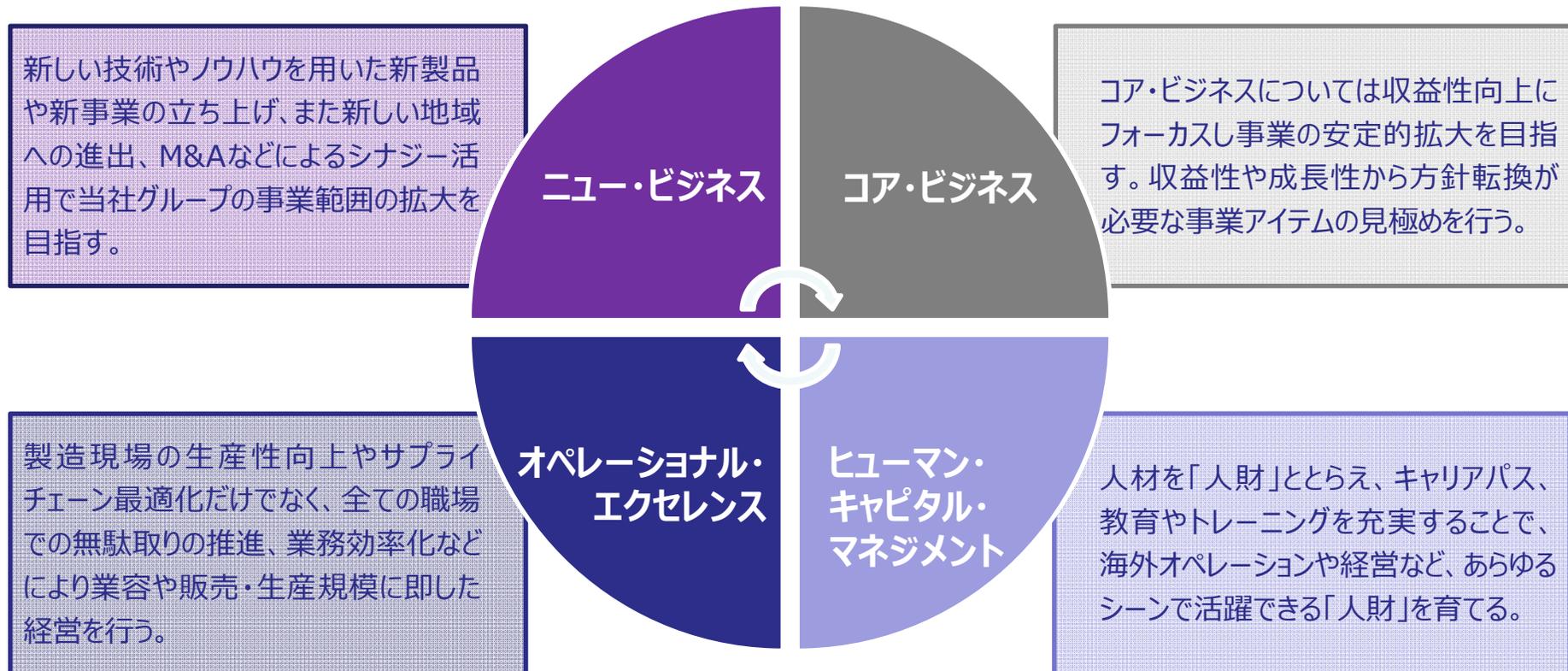
中期3カ年計画の基本戦略

- 中期経営ビジョン8つの基本戦略に基づき中期3カ年計画を実行する



キー・チャレンジ

- 中期経営ビジョンの8つの基本戦略を推進するために4つのチャレンジで外部環境に左右されない収益構造を強化する



ニュー・ビジネス

- 中期経営ビジョンのターゲット市場で新製品、新規事業を推進する

- ・ 細胞培養担体
- ・ リチウムイオン電池用セパレータ
- ・ 高性能カートリッジフィルタ
- ・ 燃料電池用部材
- ・ 繊維状機能付与粉体



カートリッジフィルタ



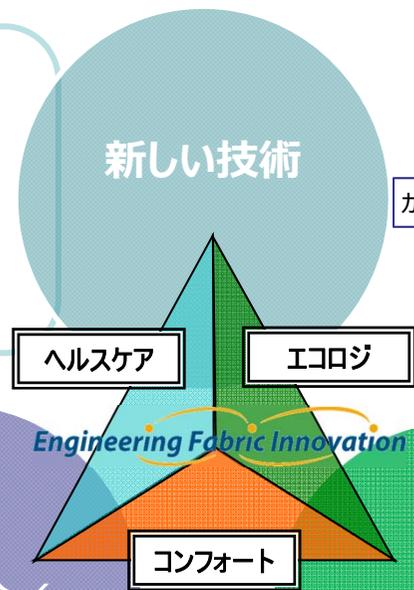
細胞培養担体



家庭用キッズマスク



VIAMメキシコ



- ・ 家庭用マスク
- ・ テープ製剤
- ・ プラスター剤
- ・ 次世代電池用部材
- ・ 産業空調用フィルタ (忍足研究所)

新しい用途/
M&A

- ・ 北米ファイバー事業
- ・ 自動車用フロアマット事業 (メキシコ、タイほか)
- ・ アジア空調合併事業
- ・ 貼付薬用基材の海外展開

新しい地域

コア・ビジネス

- 成長市場での積極的拡大と成熟アイテムの収益力強化を図る

<各分野のコア・ビジネス主要アイテムと戦略>

産業 資材	ニッケル水素電池用セパレータ	高シェアのHV用ニッケル水素電池用セパレータは、今後も徹底したコスト削減、高性能化を進め、シェアを維持する。その他車載用などの用途拡大を図る。
	貼付薬用基材	高シェアの国内パップ用途に加え、新機能開発などによりプラスター市場で拡販する。その他貼付薬用基材用途の拡大を図る。また、海外市場展開を促進する。
	芯地	国内販売は海外グループ会社からの輸入品に切り替え、販売を促進する。アジア市場ではグローバルな商流に対応したネットワークを強化し、拡販を図る。
	汎用エアフィルタ、キャビンエアフィルタ	高シェアの一般ビル空調用フィルタのさらなる拡販に加え、忍足研究所とのシナジー効果により産業空調用フィルタを拡販する。キャビンエアフィルタはコスト削減、高機能化およびグローバルネットワークの活用により、シェア拡大と収益力を強化する。
自動車 資材	フロアマット	国内、米国、中国、メキシコ、そして新設するタイの5拠点で事業拡大する。
	天井表皮材ほか	天井表皮材は、高意匠品（TWINETEXほか）開発とグローバルオペレーション強化により事業拡大する。不織布のその他車載用途の開発と拡販を推進する。
	ファイバー事業	高シェアの国内はさらに合理化を進め、北米については収益性の改善とシェア拡大を図る。

オペレーショナル・エクセレンス

- 各従業員の意識改革をベースにさまざまな手法を用いて生産性向上と業務改善を行う



ヒューマン・キャピタル・マネジメント

- 人材は企業の成長エンジン（人財）にとらえ、サクセション・プランを中心にヒューマン・キャピタル・マネジメントを推進し、事業や環境変化に応じ、計画的に適切な人材をキーポジションに配置し、グループ経営の基盤強化を図る

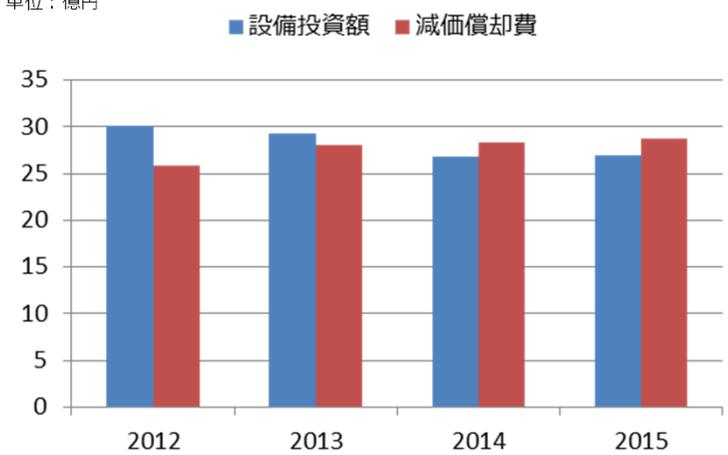


設備投資計画

- 収益性や将来性を考慮した計画的投資を行う

連結ベース設備投資と減価償却費

単位：億円



- 直近数年間の積極的な投資額により中期3カ年計画期間中の償却額は増加傾向にあり、投資の回収に注力する。
- 2014年以降は収益性や将来性を考慮し、減価償却費総額をめぐり、厳選した設備投資を実施する。

主要設備投資案件

年度	投資内容
2013 ～ 2015	自動車用フロアマット設備 (北米、メキシコ、タイほか) 自動車用天井表皮材・内装材設備 (日本、北米ほか) ファイバー事業関連設備 (日本、北米ほか) 次世代セパレータ用設備 各種フィルタ、マスク加工機 研究所、技術本部試験研究用設備 生産設備改造その他

海外オペレーション

- 引き続き、北米、中国を中心に海外オペレーションを強化。その他の地域の市場開拓にも着手

<ヨーロッパ>

- 貼付薬用基材拡販
- 細胞培養担体事業などの市場調査

<東南アジア・インド>

- タイ自動車用フロアマット事業拡大
- フィルタ合弁事業拡大
- インド事業検討

<韓国>

- グループカを生かし、韓国グローバルプレイヤーとの関連ビジネス拡大

<中国・台湾・香港>

- 自動車用フロアマットの現地メーカー向け拡販
- 自動車用高意匠天井表皮材拡販
- フィルタ合弁事業の拠点強化と拡販
- 不織布芯地の生産統合による合理化
- 電池セパレータ製品拡販
- 貼付薬用基材拡販

<北米・メキシコ>

- 自動車用フロアマット事業の継続的伸長
- ファイバー事業安定化、リサイクル事業推進
- 自動車用天井表皮材収益性向上
- 貼付薬用基材拡販

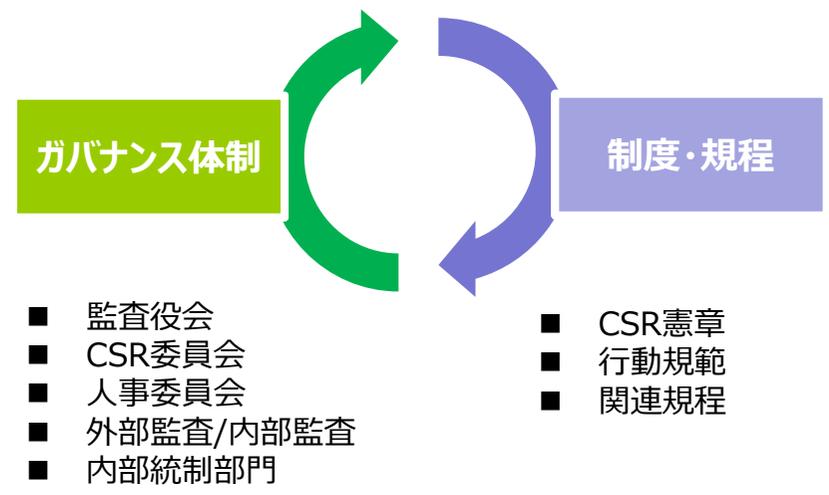
<南米>

- 南米フロアマット市場調査

ガバナンスと環境経営

- グローバル化に伴うガバナンスの強化と環境や安全に配慮した経営を推進

ガバナンスの強化



組織的な活動と制度や規程による枠組みの相乗効果でガバナンスの強化を図る。

環境経営と安全衛生

環境経営

- 環境基本理念、環境方針
- 環境報告書
- 環境目標設定

安全衛生

- グループ安全基本方針の徹底
- 安全道場の活用
- 設備の安全対策
- 人と設備を安全に結びつける「しくみ」の強化

本資料内の情報のうち、過去の事実以外のものには、当社グループの方針、期待および戦略などによる将来の予測や見通しであり、不確実性や変動可能性などを含んでおります。

本資料において、当社の将来の業績を保証するものではありません。